

第3回救急・災害医療WG会議における主な議論について

(開催日9月5日(火))

○災害時における医療

主 な 議 論

(1) ロジックモデルについて

- ・災害拠点病院以外の病院の役割や位置付けの検討について、県としての方向性が定まっていることを示すため、計画本文に反映した方が良いのではないかと意見が出された。(今村構成員)

⇒資料3-14 ページ、第3 施策の展開 1 災害発生時に備えた連携体制整備 一つ目の○に「～災害拠点病院を中心にその他の医療機関も連携して医療を提供する体制の整備を進めます。」の旨を追記。

- ・災害時における通信環境の整備について、情報通信技術の進展に伴い最適な通信環境を確保する必要があるため、設備の更新及び支援を施策に反映した方が良いのではないかと意見が出された。(高山構成員)

⇒資料3-14 ページ、第3 施策の展開 2 災害急性期に必要な医療を提供する体制整備 に新規項目として「災害時においても医療機関等における通信手段を確保するため、情報通信技術の進展に伴った通信設備の更新を支援します。」の旨を新たに追記し、ロジックモデルの個別施策にも追加。

- ・災害医療活動指針の見直しについて、現在の国の保健医療福祉調整本部の考え方を踏まえた見直しを行うことを明確に示した方が良いのではないかと意見が出された。(高山構成員)

⇒資料3-14 ページ、第3 施策の展開 1 災害発生時に備えた連携体制整備 三つ目の○を「県内外で発生した災害への対応や訓練で明らかとなった課題や、災害時の保健・医療・福祉の連携の重要性等を踏まえ、県災害医療活動指針を見直します。」の記載に修正。

- ・災害時の透析患者への対応について、計画に記載すべきという意見が出された。(岩下構成員)

⇒資料3-3 ページ、第1 現状と課題 1 災害の状況 (4) 近時の災害における課題 に妊産婦、障がい者、透析患者等、他の要配慮者に対する医療の提供や健康管理を行うことが出来る体制の構築が必要である旨を追記。

(2) 二次医療圏相互の連携体制について

- ・特になし

(3) その他

- ・災害医療提供体制のフロー図について、局所災害時の連絡系統についても記載した方が良いのではないかと意見が出された。(高山構成員)

⇒県災害医療活動指針の見直しの中で記載を検討。